

「つばさ」の結成

4月の県議選挙において、無所属新人という立場で戦い、お陰様で当選させて頂きました。選挙中から私は、当選しても国政の政党である既存の会派には入らないと述べて参りました。国政の政党に左右されている、地元のための政治ができない、国に対しても対等に話ができる地方議員が必要だからとの理由からです。そのため**無所属会派**を立ち上げようとしてきました。そこに同じく無所属新人である、蔵本 健氏（佐伯区選出）も同様の思いであったため、「**2人が両翼となって県民の皆様の声**を議会へ運びたい。」との思いから「つばさ」を結成しました。

佐藤 一直 プロフィール

S.49.11.18生（32歳）
広島市立江波中学校
広島市立美鈴が丘高校
福岡大学体育学部
竹井機器工業（株）
国会議員秘書



蔵本 健 プロフィール

S.47.6.21生（35歳）
修道中学校
修道高校（43回）
同志社大学商学部
（株）広島銀行
国会議員秘書



広島県政
報告

編集・発行

広島県議会 無所属会派「つばさ」
〒730-8509 広島県広島市中区基町10-52
TEL 082-228-2111（内線4662）

費用弁償の受取拒否をしました！

5月24日に議長あてに広島県議会における費用弁償の見直し及び受取拒否の申し入れをしました。その内容は以下の通りです。



申入書

現在、全国各地で地方議員の費用弁償についての問題が取り上げられております。広島県議会においても現状は、県民の皆様からすれば議員特権だと見られてもおかしくない制度になっており、早急に実費支給へ向けた改正へ動いて頂きたいと思っております。

さらに、4月27日付の中国新聞でのアンケートにおいても7割以上の議員が実費相当が望ましいと答えていることから6月議会での改正が十分に可能であると考えられます。これが9月議会になれば3ヶ月分、12月議会になれば半年分の税金が無駄に使われてしまうことになります。今の広島県の財政状況や県民の負担を考えれば、一刻も早い対応が議会には求められております。

知事後援会の問題ばかりが注目されておりますが、知事だけでなく議会側にも改革しなければならないことが多く残っています。知事後援会問題の真相解明とともに議員も自らの襟を正し、県民の皆様からの信頼回復に努めなければなりません。

よって、この費用弁償制度が改正されるまでは、一切その受取を拒否致しますので、ご理解の程を宜しくお願い申し上げます。

無所属会派 つばさ

※費用弁償とは 議会や委員会に出席するたびに支払われる旅費のことで交通費のようなものです。中区の議員であれば1日当たり11,400円です。

広島県議会 無所属会派

つばさ

～皆様の声を翼に乗せて～

中区版 会報誌 2007年8月発行

vol.1



広島県議会議員

いっちょく

佐藤 一直

感謝の気持ちと 挑戦する姿勢を忘れず
広島県の未来の為に 一生懸命尽くします